

# 1979年 大会記録

## 国際

### ◇ドイツ・グランプリ＝グレコローマン（3月10～11日、西ドイツ・アヤツプェンブ

#### ルク）

▼48kg級 佐々木文和（日体大）＝3位、飯塚信良（日体大）＝二失、宮原厚次（自衛隊）＝四失、▼52kg級 朝倉利夫（国士舘大）＝三失、斉藤秀雄（国士舘大）＝二失、▼57kg級 柏木究（国士舘大）＝四失、阿佐雄二（自衛隊）＝二失、長内清一（青森・八戸商高教）＝3位、▼62kg級 藤田康隆（日体大OB）＝三失、▼68kg級 南敏文（日体大）＝三失、▼74kg級 野口次夫（自衛隊）＝三失

### ◇ニコラ・ペトロフ国際大会＝グレコローマン（3月16～18日、ブルガリア・ソフィ

#### ア）

▼48kg級 佐々木文和（日体大）＝三失、飯塚信良（日体大）＝三失、宮原厚次（自衛隊）＝4位、▼52kg級 朝倉利夫（国士舘大）＝3位、斉藤秀雄（国士舘大）＝三失、▼57kg級 柏木究（国士舘大）＝三失、阿佐雄二（自衛隊）＝四失、長内清一（青森・八戸商高教）＝6位、▼62kg級 藤田康隆（日体大OB）＝二失、▼68kg級 南敏文（日体大）＝4位、▼74kg級 野口次夫（自衛隊）＝6位

### ◇ハンガリー独立記念大会＝グレコローマン（3月23～25日、ハンガリー・ブダペス

#### ト）

▼48kg級 佐々木文和（日体大）＝5位、飯塚信良（日体大）＝四失、宮原厚次（自衛隊）＝二失、▼52kg級 朝倉利夫（国士舘大）＝3位、斉藤秀雄（国士舘大）＝三失、▼57kg級 柏木究（国士舘大）＝3位、阿佐雄二（自衛隊）＝二失、長内清一（青森・八戸商高教）＝三失、▼62kg級 藤田康隆（日体大OB）＝二失、▼68kg級 南敏文（日体大）＝二失、▼74kg級 野口次夫（自衛隊）＝5位

### ◇ワールドカップ＝フリースタイル（4月1～2日、米国・トレド）

3位（2勝2敗）

1回戦 日本● [1－9] ○米国

2回戦 日本○ [9－1] ●アフリカ連合

3回戦 日本● [2－8] ○ソ連

4回戦 日本○ [7－3] ●キューバ

《個人成績》▼48kg級 入江隆（自衛隊）＝棄権、▼52kg級 清水清人（宮崎・日南

高教) = 2位、▼57kg級 小泉順一(国士舘大) = 3位、▼62kg級 多賀恒雄(国士舘大) = 2位、▼68kg級 平松義高(自衛隊) = 3位、▼74kg級 海沼邦彦(自衛隊) = 2位、▼82kg級 藤田末広(自衛隊) = 3位、▼90kg級 平山進(日体大) = 3位、▼100kg級 山本弘明(国士舘大) = 4位、▼100kg以上級 山本邦寿(日体大) = 4位

**◇全米選手権=フリースタイル(4月13~15日、米国・デスモネス)**

▼52kg級 清水清人(宮崎・日南高教) = 三失、▼57kg級 小泉順一(国士舘大) = 六失、▼62kg級 多賀恒雄(国士舘大) = 3位、▼68kg級 平松義高(自衛隊) = 3位 = 3位、▼74kg級 海沼邦彦(自衛隊) = 三失、▼82kg級 藤田末広(自衛隊) = 四失、▼90kg級 平山進(日体大) = 二失、▼100kg級 山本弘明(国士舘大) = 三失、▼100kg以上級 山本邦寿(日体大) = 三失

**◇プレ五輪=スパルタキアード国際大会部門(7月22~28日、ソ連・モスクワ)**

《フリースタイル》▼48kg級 入江隆(自衛隊) = 三失、▼52kg級 清水清人(宮崎・日南高教) = 2位、▼57kg級 江藤正基(自衛隊) = 優勝、▼68kg級 横山勝幸(自衛隊) = 三失

《グレコローマン》▼48kg級 佐々木文和(日体大) = 二失、▼52kg級 朝倉利夫(国士舘大助) = 優勝

**◇世界ジュニア選手権=グレコローマン(7月20~23日、スウェーデン・ハパランダ)**

▼48kg級 斉藤育造(専大) = 5位、▼52kg級 斉藤秀雄(国士舘大) = 6位、▼57kg級 藤井徳昭(専大) = 二失、▼62kg級 藤田勅(自衛隊) = 三失、▼68kg級 松林栄(日体大) = 二失、▼74kg級 坂本光明(専大) = 二失、▼82kg級 谷口茂敏(日体大) = 二失、▼90kg級 富田栄作(専大) = 二失、▼100kg級 竹中徹(中大) = 二失、▼100kg以上級 渡辺明(日体大) = 二失

**◇世界スクールボーイ選手権(8月2~4日、米国・サンディエゴ)**

《13~14歳》▼32kg級 山下浩(東京・三原三中) = 4位、▼38kg級 本館慎一(千葉・野田一中) = 二失、▼41kg級 関根誠(千葉・野田一中) = 二失、▼45kg級 松本隆(東京・三原中) = 二失、▼53kg級 大河義則( ) = 二失、▼49kg級 小芦英夫(群馬・太田北中) = 二失、▼62kg級 大沢浩一( ) = 二失、▼67kg級 岩田一也( ) = 3位、▼67kg以上級 吉井克幸(岐阜・竹鼻中) = 3位

《15~16歳》▼42kg級 永田慎吾(茨城・大洗南中) = 二失、▼45kg級 米川日出男(千葉・野田一中) = 6位、▼48kg級 荘司孝次(茨城・大洗南中) = 二失、▼51kg級

森下敏清(東京・三原中) = 4位、▼55kg級 神崎豊(神奈川・大野北中) = 5位、▼59kg級 武藤徹(茨城・明光中) = 4位、▼68kg級 杉山浩(茨城・大洗南中) = 二失、▼73kg級 小島勇一(茨城・常北中) = 二失

※フリースタイルのみ

**◇世界ジュニア選手権=フリースタイル(8月6~9日、モンゴル・ウランバートル)**

▼48kg級 石川真一(国士舘大) = 3位、▼52kg級 小林利典(大東大) = 三失、▼57kg級 田中琢優(日大) = 2位、▼62kg級 栄和人(日体大) = 4位、▼68kg級 山下幸一(自衛隊) = 6位、▼74kg級 野崎由明(日大) = 三失、▼82kg級 保坂竹道(国士舘大) = 三失、▼90kg級 山本隆( ) = 二失、▼100kg級 安藤正哉(日体大) 二失、▼100kg以上級 宮内輝和(日大) 二失

**◇世界選手権(8月20~28日、米国・サンディエゴ)**

《フリースタイル》▼48kg級 藤沢信雄(大東大教) = 6位、▼52kg級 高田裕司(日体大研) = 優勝、▼57kg級 富山英明(日大) = 優勝、▼62kg級 多賀恒雄(国士舘大) = 5位、▼68kg級 宮原章(松永製館) = 2位、▼74kg級 川田勝也(日大) = 三失、▼82kg級 太田章(早大) = 三失、▼90kg級 鈴木光(ユナイテッド・スティーラ) = 一棄、▼100kg級 谷津嘉章(足利工大研) = 二失、▼100kg以上級 山本邦寿(日体大) = 二失

《グレコローマン》▼48kg級 宮原厚次(自衛隊) = 二失、▼52kg級 朝倉利夫(国士舘大助) = 3位、▼57kg級 柏木究(国士舘大教) = 2位、▼62kg級 藤田隆康(日体大OB) = 二失、▼68kg級 南敏文(滋賀県体協) = 二失、▼74kg級 野口次夫(自衛隊) = 5位、▼82kg級 伊沢厚(警視庁) = 二失、▼90kg級 藤田芳弘(和歌山・和歌山北高教) = 三失、▼100kg級 藤森安一(警視庁) = 二失、▼100kg以上級 松永清志(和歌山県武道館) = 三失

**◇アジア選手権(11月8~11日、インド・ジュラダール)**

《フリースタイル》▼48kg級 入江隆(自衛隊) = 優勝、▼52kg級 元沢正樹(自衛隊) = 優勝、▼57kg級 横山勝正(専大) = 二棄、▼62kg級 多賀恒雄(国士舘大) = 優勝、▼68kg級 宮原章(松永製館) = 優勝、▼74kg級 伊達治一郎(国士舘大教) = 二失、▼82kg級 茂木優(秋田・秋田商高教) = 2位、▼90kg級 鈴木光(ユナイテッド・スティーラ) = 3位、▼100kg級 谷津嘉章(足利工大研) = 優勝、▼100kg以上級 安藤正哉(日体大) = 二失

※フリースタイルのみ

◇スーパーチャンピオンカップ=フリースタイル(12月15~16日、群馬・伊勢崎市民

体育館)

▼52kg級 高田裕司(日体大研)=優勝、▼57kg級 江藤正基(自衛隊)=4位、▼62kg級 多賀恒雄(国士舘大)=2位、▼68kg級 宮原章(松永製館)=4位

国内

◇全国高校選抜大会(4月3~4日、新潟・新潟市体育館)

《学校対抗戦》[1] 青森・光星学院、[2] 鹿児島・鹿児島商工、[3] 韓国・全羅北道

《個人戦優勝者》▼48kg級 佐藤満(秋田・秋田商)、▼52kg級 遠藤敏一(宮城・東北工大電子)、▼56kg級 西村潔(青森・光星学院)、▼60kg級 友藤威(青森・光星学院)、▼65kg級 尹垞在(韓国・全北体育)、▼70kg級 吉田浩昭(石川・星稜)、▼75kg級 桜井裕(宮城・東北工大電子)、▼75kg以上級 牧野満昭(秋田・五城目)

◇東日本学生リーグ戦(5月17~19・26日、東京・青少年総合センター、駒沢体育館)

《順位》[1] 日体大(3年ぶり3度目)、[2] 日大

(A組順位)[1] 日大、[2] 国士大、[3] 大東大、[4] 東海大、[5] 中大、[6] 八戸工大

(B組順位)[1] 日体大、[2] 専大、[3] 明大、[4] 東洋大、[5] 東農大、[6] 早大

◇西日本学生春季新人戦(5月5日、大阪・桃山学院大)

《フリースタイル優勝者》▼48kg級 時光達也(近大)、▼52kg級 古川幸司(京都産業大)、▼57kg級 亀田雅彦(関大)、▼62kg級 松永恒志(大体大)、▼68kg級 松浦雅之(近大)、▼74kg級 江村太一(同志社大)、▼82kg級 原田久也(近大)、▼82kg以上級 木村満彦(同志社大)

※フリースタイルのみ

◇全日本社会人選手権(5月19~20日、東京・青少年スポーツセンター)

《団体戦・官公庁対抗優勝》自衛隊A、《同・実業団対抗優勝》ユニマツト、《同・クラブ対抗優勝》宮崎クラブ、《同・三部対抗優勝》自衛隊A

《フリースタイル優勝者》▼48kg級 純浦文夫(自衛隊)、▼52kg級 元沢正樹(宇都宮自衛隊)、▼57kg級 川村昌司(栃木県教委)、▼62kg級 杉野浩吉(自衛隊)、▼68kg級 南正昭(宮崎ク)、▼74kg級 海沼邦彦(自衛隊)、▼82kg級 長島偉之(栃

木・足利工高教)、▼90kg級 今村民夫(自衛隊)、▼100kg級 藤森安一(警視庁)、▼100kg以上級 森康哲(自衛隊)

《グレコローマン優勝者》▼48kg級 宮原厚次(自衛隊)、▼52kg級 朝倉利夫(国士大教)、▼57kg級 円大海(自衛隊)、▼62kg級 杉野浩吉(自衛隊)、▼68kg級 西村盛正(宮崎ク)、▼74kg級 野口次男(自衛隊)、▼82kg級 長島偉之(栃木・足利工高教)、▼90kg級 今村民夫(自衛隊)、▼100kg級 藤森安一(警視庁)、▼100kg以上級 森康哲(自衛隊)

#### ◇西日本学生選手権(5月25~27日、大阪・大阪府立体育会館別館)

《フリースタイル優勝者》▼48kg級 滝口善行(近大)、▼52kg級 徳永俊太(同志社大)、▼57kg級 岡井正憲(近大)、▼62kg級 守田武史(徳山大)、▼68kg級 永田満寿(福岡大)、▼74kg級 宮本明宏(徳山大)、▼82kg級 新谷武司(徳山大)、▼82kg以上級 岩見純(福岡大)

《グレコローマン優勝者》▼48kg級 宗友英明(関学大)、▼52kg級 亀田雅彦(関大)、▼57kg級 岡井正憲(近大)、▼62kg級 守田武史(徳山大)、▼68kg級 中塚弘志(徳山大)、▼74kg級 宮本明宏(徳山大)、▼82kg級 横山博行(関大)、▼82kg以上級 岩見純(福岡大)

#### ◇世界ジュニア選手権代表選考会(5月31日~6月1日、東京・青少年総合センター)

《フリースタイル優勝者》▼48kg級 石川真一(国士舘大)、▼52kg級 小林利典(大東大)、▼57kg級 田中琢優(日大)、▼62kg級 栄和人(日体大)、▼68kg級 山下幸一(自衛隊)、▼74kg級 野崎由明(日大)、▼82kg級 保坂竹道(国士舘大)、▼90kg級 牧野満章(秋田・五城目高)、▼100kg級 安藤正哉(日体大)、▼100kg以上級 宮内輝和(日大)

《グレコローマン優勝者》▼48kg級 斉藤育造(専大)、▼52kg級 斉藤秀雄(国士舘大)、▼57kg級 藤井徳昭(専大)、▼62kg級 藤田勅(自衛隊)、▼68kg級 松林栄(日体大)、▼74kg級 坂本光明(専大)、▼82kg級 谷口茂敏(日体大)、▼90kg級 富田栄作(専大)、▼100kg級 竹中徹(中大)、▼100kg以上級 渡辺明(日体大)

#### ◇東日本学生春季新人戦(6月14~17日、東京・青少年総合センター)

《フリースタイル優勝者》▼48kg級 石井浩吉(拓大)、▼52kg級 谷川昇(中大)、▼57kg級 上野宏之(日体大)、▼62kg級 横山勝正(専大)、▼68kg級 上村政和(日大)、▼74kg級 菊地隆(大東大)、▼82kg級 野崎由明(日大)、▼90kg級 山本隆

(日体大)、▼90kg 級以上 宮内輝和 (日大)

《グレコローマン優勝者》▼48kg 級 齊藤育造 (専大)、▼52kg 級 鈴木貴太郎 (日体大)、▼57kg 級 水谷一也 (日体大)、▼62kg 級 五位塚悟 (大東大)、▼68kg 級 菊地英利 (明大)、▼74kg 級 菊地隆 (大東大)、▼82kg 級 谷一郎 (日体大)、▼90kg 級 竹中徹 (中大)、▼90kg 級以上 宮内輝和 (日大)

**◇西日本学生春季リーグ戦 (6月22～24日、大阪・大阪府立体育会館別館)**

《順位》[1] 福岡大 (2季ぶり7度目)、[2] 徳山大、[3] 近大、[4] 大体大、[5] 同志社大、[6] 関大

**◇全日本選手権 (6月22～24日、東京・東京体育館)**

《フリースタイル優勝者》▼48kg 級 藤沢信雄 (大東大職)、▼52kg 級 高田裕司 (日体大研)、▼57kg 級 富山英明 (日大)、▼62kg 級 多賀恒雄 (国土大)、▼68kg 級 宮原章 (松永製あん)、▼74kg 級 伊達治一郎 (国土大教)、▼82kg 級 茂木優 (秋田・秋田商高教)、▼90kg 級 鈴木光 (ユナイテッド・スティーラ)、▼100kg 級 谷津嘉章 (足利工大研)、▼100kg 以上級 山本邦寿 (日体大)

《グレコローマン優勝者》▼48kg 級 宮原厚次 (自衛隊)、▼52kg 級 朝倉利夫 (国土大助)、▼57kg 級 柏木究 (国土大助)、▼62kg 級 藤田隆康 (日体大OB)、▼68kg 級 南敏文 (滋賀県体教)、▼74kg 級 野口次男 (自衛隊)、▼82kg 級 伊沢厚 (警視庁)、▼90kg 級 藤田芳弘 (和歌山・和歌山北高教)、▼100kg 級 藤森安一 (警視庁)、▼100kg 以上級 松永清志 (和歌山武道館)

**◇インターハイ (8月3～6日、和歌山県和歌山市・和歌山県立体育館)**

《学校対抗戦》[1] 青山・光星学院、[2] 宮城・東北工大電子工、[3] 鹿児島・鹿児島商工、秋田・秋田経法大付

《個人戦優勝者》▼48kg 級 佐藤満 (秋田・秋田商)、▼52kg 級 野口芳孝 (青森・八戸工)、▼56kg 級 西村潔 (青森・光星学院)、▼60kg 級 友藤威 (青森・光星学院)、▼65kg 級 中田薫 (青森・光星学院)、▼70kg 級 高橋昭彦 (愛知・名商大付)、▼75kg 級 谷川英樹 (青森・光星学院)、▼75kg 以上級 坂井淳 (青森・光星学院)

**◇全日本学生選手権 (8月27～30日、大阪・大阪府立体育会館)**

《フリースタイル優勝者》▼48kg 級 石川利明 (日大)、▼52kg 級 小林利典 (大東大)、▼57kg 級 横山勝正 (専大)、▼62kg 級 五位塚悟 (大東大)、▼68kg 級 加藤

(国士館大)、▼74kg 級 田谷久男 (東洋大)、▼82kg 級 芽原功 (専大)、▼90kg 級 平山進 (日体大)、▼90kg 級以上 安藤正哉 (日体大)

《グレコローマン優勝者》▼48kg 級 佐々木文和 (日体大)、▼52kg 級 浦本善郎 (日体大)、▼57kg 級 富田幸男 (法大)、▼62kg 級 飯岡正 (国士館大)、▼68kg 級 山口勝之 (国士館大)、▼74kg 級 池乗貞明 (法大)、▼82kg 級 芽原功 (専大)、▼90kg 級 大山隆 (日体大)、▼90kg 級以上 宮内輝和 (日大)

◇全日本学生王座決定戦 (10月4～5日、東京・青少年総合センター) =決勝記録

日体大○ [5 - 4] ●国士館大

※日体大は2年連続3度目の優勝

◇東日本学生グレコローマン選手権 (10月30日、東京・青少年総合センター) =決勝

成績

日体大○ [6 - 3] ●国士館大

※

◇国体 (10月15～18日、宮崎・日南工高、日南高)

《成年フリースタイル優勝者》▼48kg 級 入江隆 (茨城・自衛隊)、▼52kg 級 清水清人 (宮崎・日南高教)、▼57kg 級 富山英明 (茨城・日大)、▼62kg 級 山崎徳夫 (和歌山・成東中教)、▼68kg 級 小泉清一 (青森・八戸工高教)、▼74kg 級 海沼邦彦 (青森・自衛隊)、▼82kg 級 藤田末広 (茨城・自衛隊)、▼90kg 級 太田章 (秋田・早大)、▼100kg 級 谷津嘉章 (栃木・足利工大研)、▼100kg 以上級 森康哲 (徳島・自衛隊)

《成年グレコローマン優勝者》▼48kg 級 佐々木文和 (島根・日体大)、▼52kg 級 中村文治 (和歌山・県高体連)、▼57kg 級 江藤正基 (鹿児島・自衛隊)、▼62kg 級 田上高 (鹿児島・伊佐農高教)、▼68kg 級 南敏文 (滋賀・県体協)、▼74kg 級 長友寧雄 (宮崎・日南工高教)、▼82kg 級 伊沢厚 (東京・警視庁)、▼90kg 級 藤田芳弘 (和歌山・和歌山北高教)、▼100kg 級 藤森安一 (東京・警視庁)、▼100kg 以上級 =優勝なし (2位2人)

《少年フリースタイル優勝者》▼48kg 級 高橋宏 (青森・光星学院)、▼52kg 級 佐藤満 (秋田・秋田商)、▼56kg 級 西村潔 (青森・光星学院)、▼60kg 級 友藤威 (青森・光星学院)、▼65kg 級 中田薫 (青森・光星学院)、▼70kg 級 木名瀬重夫 (茨城・土浦日大)、▼75kg 級 谷川英樹 (青森・光星学院)、▼81kg 級 深沢隆一 (茨城・土浦日大)、▼87kg 級 曾根哲郎 (長野・小諸商)、▼87kg 以上級 牧野満章 (秋田・五城

目)

《少年グレコローマン優勝者》▼48kg級 大川秀和(三重・尾鷲工)、▼52kg級 三宅正徳(岐阜・岐阜西工)、▼56kg級 橋浦晋(宮城・東北電子工)、▼60kg級 井岡克哉(石川・星稜)、▼65kg級 金子勝己(埼玉・埼玉栄)、▼70kg級 高橋松博(青森・八戸工大一)、▼75kg級 馳浩(石川・星稜)、▼81kg級 福辺雅彦(鹿児島・鹿児島商工)、▼87kg級 本田多聞(茨城・土浦日大)、▼87kg以上級 坂井淳(青森・光星学院)

**◇全日本大学選手権(11月17~18日、東京・東京体育館)**

《優勝者》▼48kg級 佐々木文和(日体大)、▼52kg級 小林利典(大東大)、▼57kg級 富山英明(日大)、▼62kg級 館岡正(国士舘大)、▼68kg級 海老沢正道(日体大)、▼74kg級 田谷久男(東洋大)、▼84kg級 太田章(早大)、▼90kg級 平山進(日体大)、▼90kg以上級 山本邦寿(日体大)

《大学対抗得点》[1] 日体大(3年連続4度目)、[2] 日大、[3] 国士舘大

**◇西日本学生秋季新人戦(9月8~9日、大阪・桃山学院大)**

《フリースタイル優勝者》▼48kg級 田中一成(桃山学院大)、▼52kg級 高柳諭史(関大)、▼57kg級 北章人(近大)、▼62kg級 小野憲一(近大)、▼68kg級 平山悦司(大体大)、▼74kg級 松浦雅之(近大)、▼82kg級 江村太一(同志社大)、▼82kg以上級 木村満彦(同志社大)

《グレコローマン優勝者》▼48kg級 時光達也(近大)、▼52kg級 亀田雅彦(関大)、▼57kg級 鳥居慶輔(名城大)、▼62kg級 松永恒志(大体大)、▼68kg級 松浦雅之(近大)、▼74kg級 滝田新太郎(桃山学院大)、▼82kg級 土田元司(同志社大)、▼82kg以上級 大村桂(近大)

**◇西日本学生秋季リーグ戦(11月23~25日、大阪・大阪府立体育会館別館)**

《優勝》[1] 徳山大(2季ぶり2度目)、[2] 福岡大、[3] 近大、[4] 同志社大、[5] 大体大、[6] 桃山学院大

**◇東日本学生秋季新人戦(11月26~29日、東京・青少年総合センター)**

《フリースタイル優勝者》▼48kg級 石川真一(国士舘大)、▼52kg級 森崎智宏(日体大)、▼57kg級 桜井弘記(東洋大)、▼62kg級 五位塚悟(大東大)、▼68kg級 山口敏博(国士舘大)、▼74kg級 上村政和(日大)、▼82kg級 茂木修(日体大)、▼90kg



級 富田栄作（専大）、▼90kg 級以上 竹中徹（中大）

《グレコローマン優勝者》▼48kg 級 橋本伸幸（明大）、▼52kg 級 今野浩道（法大）、▼57kg 級 藤井徳昭（専大）、▼62kg 級 中島光正（大東大）、▼68kg 級 山口敏博（国士舘大）、▼74kg 級 樋口直巳（日体大）、▼82kg 級 茂木修（日体大）、▼90kg 級 富田栄作（専大）、▼90kg 級以上 竹中徹（中大）

**◇モスクワ五輪第3次選考会（12月17～18日、東京・青少年総合センター）**

《フリースタイル優勝者》▼48kg 級 清水清人（宮崎・日南工高教）、▼52kg 級 元沢正樹（自衛隊）、▼57kg 級 小泉順一（国士舘大）、▼62kg 級 山崎徳夫（和歌山・城東中教）、▼68kg 級 平松義高（自衛隊）、▼74kg 級 海沼邦彦（自衛隊）、▼82kg 級 太田章（早大）、▼90kg 級 清水一夫（岡山・岡山日大高教）、▼100kg 級&100kg 以上級 大湊康訓（中大OB）

《グレコローマン優勝者》▼48kg 級 佐々木文和（日体大）、▼52kg 級 瀬本善朗（日体大）、▼57kg 級 大野義弘（斎藤道場）、▼62kg 級 長内清一（八戸市教育事務所）、▼68kg 級 山口勝之（国士舘大）、▼74kg 級 池乗貞明（法大）、▼82kg 級 高西一宏（徳島・中央高教）、▼90kg 級 堀川和宣（堀川組）、▼100kg 級&100kg 以上級 松井保憲（皇宮警察）